

みどり野きた住まいるヴィレッジ

南幌 × 暮らし × 住まい

クオリティ・ファースト

のデザイン *Quality First*

北海道の新しい住まいの形
— 北方型住宅で建設します

建築家×地域工務店による、
クオリティ・ファーストの暮らし

暮らしのクオリティを大切にする「クオリティ・ファースト」を基本コンセプトとする「みどり野きた住まいるヴィレッジ」。これを具現化するために前期より提案しているのは、敷地は隣地も合わせて購入できるように1区画おきに販売して2区画分の広い視界と秩序ある街並みを提供すること。住人が隣地を菜園や庭、共用の場に行けること。個々の住宅は、屋外・半屋外空間を室内とつなぎ、住宅の面積以上の広がりを感じられる暮らしを創り出すこと。さらに、「みどり野きた住まいるヴィレッジ」に関わる人たちが「まちを育てていくこと」そして、これらを確かなものとするため、高い住宅性能を実現する技術力と専門知識も持った地域工務店と建築家がともに創ることです。

共通のデザインルールを設定

注文住宅方式（モデルハウスを含む）を可能とする今回は、本事業の趣旨に掲げる「道内の住宅事業者が設計・建設した地域の気候風土などへの配慮や豊かな暮らしを提案する良質な住宅を提示することで、北海道が進めているきた住まいる制度や北方型住宅の普及啓発を図るとともに、南幌町への定住の促進を図る」という目的をかなえ、個々の住まい手の要求に応じながら「みどり野きた住まいるヴィレッジ」らしい魅力ある暮らしのできる住まいを設計・施工することが求められます。

そこで、前期からの基本コンセプトであるクオリティ・ファーストを引き継ぎながら、ヴィレッジ全体のデザインに関する共通ルールとして、参加事業者が基準とすることのできるデザインルールを設定します。

クオリティ・ファーストを支える

デザインルール *Design Rule*

「みどり野きた住まいるヴィレッジ」では、個々の住宅をはじめ、ヴィレッジ全体にわたるデザインにおいて、前期に掲げた3つのテーマ「ライフスタイル 小さく豊かに暮らす」「まちづくり この"まち"で暮らす」「住宅のイメージ ていねいに暮らす」を考え方のベースとします。

そして、デザインに関する共通ルールとして、デザインルール（必須）を設定します。さらに、完成済みの6棟に共通してみられる特徴を分析して良い結果が得られた要素を抽出・整理し、これからの設計・施工の際に活用できるデザインツール（任意）を提示します。

ライフスタイル 小さく豊かに暮らす

住まいの価値を、暮らしのクオリティに求めるというライフスタイル。見た目には小さくても、心理的な奥行きは深く広く大きいという、そこに価値を見いだせることが、クオリティ・ファーストを理念とする「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の前提です。

そのため、家だけではなく隣地を活用した共用スペースにも、暮らしのクオリティを高めるしかけをつくり、コミュニティや地域社会とのつながりによって、個々人のライフスタイルを大きく楽しく発展させます。



「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の事業に参加するということは、建て主（住人）、住宅ビルダー、建築家であるかに関係なく、まちをつくり、育てることに関わることです。

きれいな街並みやみどりの風景をつくり、共有の意識を大事にする。まちづくりにおいてもクオリティ・ファーストという「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の理念を理解・共有し、まちを育て、豊かな暮らしを育てていくのが、これからのスタイルです。

まちづくり この"まち"で暮らす



住宅のイメージは、ハイスペックな住宅性能をもち、暮らしへの経済効果も見込めるエネルギー効率の高い、必要十分な広さの家。

その上で、ドアを付ける・外すなどの簡単なアレンジで暮らしの変化に対応し、間取り変更や増築がしやすいなど、長く住み続けられる家に必要な、将来の変化に柔軟に対応できる備えを提案。

さらに、地域材を生かした内・外装のデザインで、年月を経るほどに味わいが増す自然素材の魅力を楽しく暮らしを提案します。

住宅のイメージ 長く、ていねいに暮らす

